令和４年度　裾花幼稚園　「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

１．園の教育目標

いっぱい遊んで、元気に挑戦!!

２．本年度の重点目標

⑴ 頭と心と体をつかって、自由に伸び伸びと遊ぶ。
⑵ 友だちのよさに気づいて、協力して活動できる。
⑶ やろうときめたことを最後まであきらめずにやり抜く。

３．自己評価

A…十分達成されている　　B…達成されている
C…取り組んでいるが、成果が十分でない　D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	A
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	C
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	A
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

４．学校関係者評価委員(モニター)からの評価

・地元区長：子どもの元気のよい声で地域も元気をもらっている。伸び伸びとした環境を大事にしてほしい。
・小学校教頭：主体性を伸ばす取り組みは、小学校にもつながるので良い。３つの重点裾花小の取組と重なる。
・保護者：コロナ制限がある中で、できる範囲で最大限頑張っていただいている。取組に十分満足している。
・保護者：ドッジボールや泥団子など異年齢で触れ合うことはいいことだ。縦のつながりを生かしている。

モニターからは、今年度の取組については、好評価をいただき、要望等は出なかった。

５．今年度の総合的な園評価と次年度への課題

今年度、子どもが力を発揮し伸びている園内での活動事例はたくさんあり、保護者アンケートもそれを踏まえて全体的に高評価だった。モニター会も同様で批判的な意見は出ていない。しかし、職員の園自己評価では園長のリーダーシップに対する評価が低かった。活動のねらいや方向を学年に任せてしまい、園全体の方向性が明確にならなかったことが原因と思われる。

そこで、次年度は、子どもが伸びている活動事例を園全体で共有しあいながら、職員がより良い実践を求めていく機運を高めていく研修方法の模索に力を入れたい。また、コロナのために中断してきた地域とのつながり、小学校との連携をどう進めていくかについてもその方向を考えていきたい。